

信託で人生100年時代の生き方をデザイン

—立教セカンドステージ大学で「信託の使い方を学び考える」—

信託に係わる調査研究・助成等を行う公益財団法人トラスト未来フォーラムは、立教セカンドステージ大学(RSSC)に寄付講座を開設した。講座名は「**信託機能を活用した社会貢献・財産管理**」で2020年度の秋学期にスタートする。RSSCへの外部機関からの寄付講座開設は、初めてのケース。その趣旨と狙いについてトラスト未来フォーラムの高橋温理事長と同講座の責任者である河村賢治教授に話を聞いた。

信託の健全な振興と発展を図り、社会・公共に奉仕

トラスト未来フォーラムは、1987年の設立以来、信託法制・事業等に係わる調査研究・助成・寄付講座等を実施してきました。信託の健全な振興と発展を図ることを目的としており、財団創設以来の叢書・出版物の蓄積は130冊を超えます。信託の未来への発展に向けて幅広い関係者が集い、社会・公共に奉仕できる場(フォーラム)となることを目指しています。

信託は、その時々の利用者の様々な思いやニーズを追求・実現する枠組みとして発展してきました。時代の変革期を迎える中、財産の運用・管理や資産・事業承継への活用等を含め、信託の利用場面は

益々拡大しています。信託は専門家の知見を活用し、個人の思いを実現・固定し得る枠組として大きな可能性を持っています。人生100年時代を迎え、一人ひとりの生き方のデザインや思いの実現、人生の充実に向け、信託の更なる活用が期待されます。

今回のRSSCの寄付講座では、信託の歴史・制度や社会貢献・相続・財産管理への利用方法等を学び、受講者目線での使い方も考えます。人生100年時代の充実に向け、信託の学びの場の拡充等が期待される中、トラスト未来フォーラムでは、こうした取組に一層力を入れてまいります。



公益財団法人
トラスト未来フォーラム 理事長
高橋 温

トラスト未来フォーラムの寄付講座開設に寄せて

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、50歳以上のシニア層のために、2008年に立教大学が創設した学びの場です。人生のセカンドステージにおいて、受講生が「自由な市民」としての生き方を自らデザインできるように、「学び直し」「再チャレンジ」「異世代共学」を柱とするカリキュラムを構築しています。RSSCで学んだ修了生は1000名を超え、歴代の多くの修了生は、同窓の仲間と一緒に研究会や読書会などを組織し、また、社会貢献活動にも参加して、セカンドステージ・ライフを満喫しています。

昨今、人生100年時代という言葉をよく目にしますが、長寿化・高齢化が進む社会においては、健康寿命と同時に資産寿命を延ばしていくことが重要であると考えられます。こうした中、社会貢献活動をも重視するRSSCのカリキュラムに、トラスト未来フォーラムによる寄付講座『信託機能を活用した社会貢献・財産管理』を開設することができたのは、大変意義深いことであると考えます。自らの思いを実現するために信託をどう活用することができるのか、受講生の皆さんと一緒に考えていければと思います。



立教大学大学院法務研究科教授・
立教セカンドステージ大学学長補佐

河村 賢治氏

立教セカンドステージ大学

<https://www.rikkyo.ac.jp/academics/lifelong/secondstage/>

立教セカンドステージ大学